

AERONCA

一般社団法人 日本飛行連盟
〒105-0004
東京都港区新橋1-18-1航空会館
TEL:03-6268-8755
FAX:03-3502-0680
E-mail:jfa1953@seagreen.ocn.ne.jp
HP:http://jfa1953.org

[Japan Flying Association / J F A]

since1953

TGW

「高輪ゲートウェイ駅」



駅舎は見ようによっては恐竜の骨のようなフレーム。駅前周辺は商業施設やマンションなどがまだまだ開発途中ですが、駅だけは立派に出来上がりました。そのオープン記念として駅前特設会場でイベントが開催されました。2020年7月14日(火)～9月6日(日)

地方の名物料理、ソーシャルディスタンスを保つための盆踊りなどがあり、ほどよい賑わいでした。この駅前広場や駅の外通路2階からは羽田からの飛行機もよく見えます。特にお腹の真下が…。羽田第一・第二旅客ターミナルの展望デッキ、国際線ターミナル展望デッキや浮島町公園、京浜つばさ公園は飛行機好きの絶好の撮影ポイントとして有名ですが、山手線、京浜東北線の新駅TGWもおすすめスポットです。



■上面ではなく、横側タッチの改札

TABLE OF CONTENTS

- 「赤十字飛行隊」「鹿児島支隊、他支隊近況」…………… P2～4
- 「操縦経験のない型式の航空機を操縦する場合のガイドライン」…………… P5
- 「第68回定時総会」…………… P6
- 「夜間飛行」奥貫 博…………… P7
- 「JFAサロン」…………… P8



赤十字飛行隊

高橋 淳
赤十字飛行隊隊長より

防災訓練

例年、4月～11月頃にかけて、県・市町村では防災訓練が行われていました。今年はその訓練もウイルス感染拡大防止のため中止となっています。いつもですと、各支隊の皆さんは、フライトで地上でと防災訓練に参加し、地域との相互協力、連携確認を行っているところでしょう。年に数回の訓練であってもお互い顔が見える訓練は大切です。地域で顔は見たことあるがお話したことは無い、確か役所の担当者だったかな・など、こうした不確かな状況も事前の調整会議への参加や訓練現場で顔を合やすことで、どこの誰々さんということが確認でき、その後の連絡もスムーズになります。日赤県支部、役所担当の窓口、地域住民の所在、安否確認などが滞りなくできるよう、年に数回でも地元、公共機関、自治体などが出揃う訓練は大切であり、飛行隊の参加はお互いにとっても有意義であるはずで。一日も早く元の訓練に参加できるように、また、緊急出動の要請など、そのときに備えて各支隊におかれましては、連絡網の再確認、技量維持、機体のチェックをよろしくお願いいたします。

寄附金御礼 〈一般社団法人 日本飛行連盟〉

本紙5月号でご協力をお願いいたしました、日本赤十字社への寄附金に関しましては、皆様から多大なご協力を頂き、有難うございました。

8月19日に日本赤十字社本社へお伺いし、コロナウイルス対応で大変な御苦勞を強いられている、医療現場に役立てて頂けるよう、事業局パートナーシップ推進部部長、大野博敬氏へお渡しいたしました。

ここに皆様のご厚意に対し心から厚く感謝申し上げます。



寄附金の贈呈

鹿 児 島 支 隊

ある日のボランティア：入港途中からヘリで誘導に飛びました

文/写真 鹿児島支隊長・剥岩政次

都市圏は新型コロナで大変ですね。いろいろな緩和策が出されていますが、結局は自分自身が自分を守るしかないのでしょうか。

鹿児島の私の会社でも、スイス国籍でフランス人乗組員のソーラーボートから高熱者が出て、緊張が走りました。こういう時って、救急車も保健所も市立病院も皆後ろ向きでしたね。呆れてしまい、自分の車で近くの病院の外に運び、2時間もかかって、やっと救急車で市立病院が受け入れて貰える事になりました。事なきを得たのですが、何か非常事態の問題が違うような違和感が残った日でした。

さて、今日は又、ニュージーランドからのヨットが入港してきました。

全長35m。

エンジンはありません。ソーラーパネルでリチウムイオン電池に充電と燃料電池に補充し、それをエネルギーとしてモーターとカイトで走ります。



ヨットの入港



赤十字飛行隊

福島支隊

久々の明るいニュース。日本を代表するエアレース世界チャンピオンで、赤十字飛行隊福島支隊隊員の室屋義秀氏をはじめとする航空関係者有志によって、パイロットを目指す若者たちを育成するプログラムがスタートしました。事前の選考試験に合格したのは3人の高校生。訓練拠点であるふくしまスカイパークでは、本格的に座学に実機訓練などが始まっているようです。ぜひ腕を磨いて、無事に免許取得まで、若い力で頑張ってください。ソロフライトの勇姿が見られますよう・・・応援しています。

さて、その室屋義秀氏は、令和2年度国際航空連盟(FAI)のFAI エアスポーツメダルを受賞されます。(表彰式は9月23日、東京・航空会館)ふくしま飛行協会理事として、スカイスーツをとおした地域活性、環境整備などの活動、全日本曲技飛行競技会の技能・安全委員長として大会の開催に貢献するなど、その尽力がみとめられたものです。真におめでとうございます。また、8月21日には山形市内8カ所においてフライト。白いスモークで笑顔マークを描きました。ファンにとってはひとときのリフレッシュタイムを楽しんで頂けたようです。そして、9/13(日)には「福島のパワー未来へ!スポーツわくわくプロジェクト」大空へ羽ばたこう!スカイスーツ教室も開催される予定です。コロナ渦の終息が見えない中での多方面での活動。なかなか大変かと思いますが、赤十字飛行隊福島支隊の活動も引き続きよろしく御願いたします。

会員の皆様へ

先日、会員登録データ用紙をお送りさせていただきました。その後、皆様からは、最新版として、個人データを御返信頂きました。真に有難うございました。しかしまだ、一部の方からはお届けがありません。ご多忙かと存じますがお忘れのないよう、御返信を頂きたく宜しく、御願いたします。なお、用紙紛失や見あたらない場合は下記内容を任意の形式で構いませんのでお送りください。

登録内容

- ・お名前・郵便番号、現住所またはご希望の送付先
- ・自宅電話(あればFAXも)・携帯、スマホ電話
- ・PCメールアドレス
- ・携帯、スマホメールアドレス
- ・操縦資格及び番号
- ・無線などの資格及び番号
- ・特定操縦技能審査 有 無(予定)
- ・自家用機、社用機、グループ使用機など運用可能な機種名・JA番号

宛先

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-1 航空会館
 一般社団法人日本飛行連盟 へ
 電話：03-6268-8755 FAX：03-3502-0680 メール：jfa1953@seagreen.ocn.ne.jp

操縦経験のない型式の航空機を操縦する場合のガイドライン

運輸安全委員会の航空事故調査報告書の勧告を受けて、操縦士に係る技能証明に付された限定と同一の種類及び等級の航空機(型式限定を付さないものに限る。)であっても、当該型式機を適切に運航するための知識や技術が相違するものを操縦する場合や、経験を有しない発航の方法により滑空機を操縦する場合に必要な教育訓練のガイドラインが制定になりました。令和2年10月1日から施行になり、特定操縦技能審査等の場で確認が行われます。以下は、その概要です。

■ 該当する航空機

- ・操縦経験のない下記の飛行機
 - 多発ピストン飛行機
 - 単発及び多発タービン飛行機
 - 可変ピッチプロペラの飛行機
 - 引込式着陸装置の飛行機
 - 過給機を有する発動機の飛行機
 - 発動機出力200馬力を超える飛行機
 - 電子飛行計器システム装備の飛行機
 - デジタル・エンジン制御装置の飛行機
 - 高揚力装置を装備した飛行機
 - 与圧装置を装備した飛行機
 - 尾輪式の飛行機
- ・操縦経験のない型式の回転翼航空機
- ・経験のない発航方法による滑空機

■ 該当する航空機における教育訓練の内容

1. 学科教育

20時間(滑空機は5時間)を標準として、機体概要、構造、運用限界及び性能、諸系統及び取扱い、通常及び緊急操作の手順を含めて実施する。また、与圧装置を装備した飛行機の学科教育は、上記に加え、10時間を標準として、高高度飛行に関する内容を含めて実施する。
2. 実技教育

実機、模擬飛行装置又は飛行訓練装置(いずれも航空局認定のもの)の、いずれかにより、10時間を標準として実施する。滑空機の場合は、未経験の発航方法による10回以上の離陸を標準として実施する。
3. 教育訓練の実施者は、機長として当該航空機を操縦できる者で、当該航空機や発航方法に係る知識及び操縦経験を有するものとする。
4. 教育訓練の実施者は、操縦士が操縦に必要な知識及び技量を有していることを確認した場合は、訓練を受けた操縦士の飛行日誌(滑空機の場合は滑空機乗組員飛行日誌)の自由記入頁にその内容を記載する。

詳細は、R2.6.29制定 国空航第1055号 『<https://www.mlit.go.jp/common/001354171.pdf>』を参照して下さい。

Information

第68回 定時総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
定款第4章第21条により書面決議とした。

- 第1号議案 令和1年度事業報告及び決算報告.....承認
- 第2号議案 役員任期満了に伴う改選・全役員重任....承認

▼ 貸借対照表

資産の部		負債の部	
(流動資産)	10,687,818	(流動負債)	3,689,937
現金預金	10,531,888	未払金	887,587
未収入金	-	前受金	2,770,500
立替金	-	預り金	21,850
前払費用	72,150	未払消費税等	-
未収消費税等	282,778	(固定負債)	700,000
(固定資産)	2,511,008	積立保証金	700,000
(1)特定資産			
飛行機整備積立金	78,377	負債の部 合計	4,389,937
特定資産合計	78,377		
(2)その他固定資産		正味財産の部	
建物附属設備	1	正味財産	9,008,887
構築物	200,790		
車両運搬具	1	繰越利益	15,836,288
什器備品	1,168,180	当期利益	-6,830,399
電話加入権	289,859		
出資金	250,000	正味財産の部 合計	9,008,887
差入保証金	526,000	負債及び正味財産 合計	13,398,824
その他固定資産合計	2,434,631		
資産の部 合計	13,388,824		

▼ 損益計算書

I 収益の部		
J F A 入 会 金 収 入	98,000	
J A C 年 会 費 収 入	1,898,800	
赤十字飛行機年会費収入	1,536,000	
大村飛行機年会費収入	8,790,888	
三保飛行機年会費収入	2,285,000	
講習会 収 入	48,000	
日本赤十字社 補助会収入	802,000	
寄 付 金 収 入	121,000	
受 取 租 金	47	
雑 収 入	345,587	16,762,914
II 費用の部		
1. 事業費		
大村飛行機事業費	12,678,803	※事業費等補助金(内省)
三保飛行機事業費	2,285,259	
会 報 発 行 事 業 費	1,336,724	
赤十字飛行機事業費	4,988,814	
航空知識向上事業費	256,263	
飛行クラブ運営費	548,028	19,755,361
2. 管理費		
雑 務 手 当	2,260,900	
福 利 厚 生 費	48,850	
経 費 交 通 費	123,970	
通 信 費	72,377	
会 費	83,848	
雑 務 心 算	70,619	
新 聞 購 読 費	20,617	
消 耗 品 費	125,745	
賃 借 料	321,640	
諸 費	40,000	
雑 費	580,686	3,818,532
経 常 利 益		-6,830,399
当 期 利 益		-6,830,399
繰 越 利 益		15,836,288
剰 余 金		9,008,887

令和3年経済センサス - 活動調査を実施します。

- 令和3年6月1日現在で経済センサス-活動調査を実施します。
- 経済センサス-活動調査は、我が国における産業構造を包括的に明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、「統計法」という法律に基づいた報告義務のある基幹統計調査です。



本調査実施にあたり、支社等を有する企業の本社あてに、令和2年10月下旬から順次「企業構造の事前確認票」を郵送しますので、内容のご確認・ご回答よろしくお願いたします。

総務省・経済産業省

総務省・
経済産業省
からのお知らせ

経済センサス 検索

ホームページのご案内 <https://www.stat.go.jp/data/e-census/guide/index.html>

夜間飛行

奥貫 博

関東平野には、小型機の夜間飛行に利用できる公共飛行場がありませんので、これまで、長いこと飛んできましたが、夜間飛行の経験がほとんどありません。

調布飛行場は、昔も今も昼間のみの運用ですし、ホンダエアポートは夜間飛行設備を備えています。が、自家用機等の一般の利用に広く開放されているものではありません。

その結果、関東の小型機の人が夜間飛行の経験を積むには、名古屋、仙台等以遠に出かけるが必要になるのが現状です。

技能証明申請の際の飛行経歴(飛行機)は、自家用の場合、「夜間における離陸、着陸及び航法の実施を含む20時間以上の同乗教育飛行」、事業用の場合は、「機長としての5回以上の離陸及び着陸を含む5時間以上の夜間の飛行」が必要とされていますので、それを充足して試験に臨むのですが、以降、夜間飛行の環境が得られない場合、夜間の飛行経験は、技能証明取得前のものだけ、といった操縦士が多いのも事実です。

関東平野の河川敷の離着陸場をベースとした飛行ばかりの私の場合もそうなのですが、改めて、自分の飛行のためのノートから、夜間飛行の部分を見てみますと、以下のような内容が記載されています。

●夜間飛行の準備と確認の要点●

- ・夜間飛行に備えた各種航空情報の再確認
- ・必要な情報は、手元に整理して用意
- ・電気系統他、機体システムの知識と操作
- ・航空灯火等への知識の再確認
- ・異常発生時の対処要領の再確認
- ・目視に頼らない安全な飛行経路の確認
- ・視程障害の存在等を考慮した気象の確認
- ・夜間飛行に備えた各種持参品の確認と準備
- ・機内外照明の点灯確認、確実な飛行前点検
- ・長時間の計器による飛行の継続への対処
- ・空間識失調の条件等と対処知識の再確認
- ・暗さによる視認力低下への認識と対処

どれもその通りなのですが、先日は、自分が機長ではないとはいえ、反省を要する夜間飛行をしてしまいました。知識として知っていても、それが実行されないのでは、何の役にも立たない、との認識を新たにするとともに、大いに反省をさせられたのでした。



夜間飛行の安全確保には確実な準備が必要

それは仙台空港でのことでした。依頼された4人の方に、飛行機の異常姿勢対処の要領を体験していただいたのですが、午前は講習、午後に飛行の、慌ただしいものでした。

機体はFA-200、実施場所は空港の南、約21nmの空域で、往復には30分以上を要しましたから、4人の講習飛行では、時間が不足して、最後の1人は、訓練終了後の着陸が日没時刻以降となるような状況でした。

受講生は仙台空港に慣れた方でしたので、夜間飛行は、何も心配していなかったのですが、帰途、暗くなって、照明を点灯させてみますと、計器灯と着陸灯が点灯しません。

空港に近づく頃には、暗くて速度計等の視認が困難になってきましたので、右席のユーティリティライトを利用して斜めに照らし、何とかしましたが、着陸灯は、どうしてもならず、滑走灯を点灯させて対処しました。

とはいえ、滑走灯では、光軸の関係から、着陸引き起こし姿勢で、滑走路面を照らすことはできず、高さの判断には使えません。FA200に不慣れた機長に対し、着陸の際は、パワーと速度を残し、浅い降下角で接地させるようアドバイスして、何とか無事に着陸させることが出来ました。

反省点は、夜間飛行になるのがわかっている状況なのに、そのための点検や準備をせずに離陸してしまったことに尽きます。右席同乗ということで気が緩み、機長も、夜間飛行に備える意識が欠落していたのでしょう。

何とかかなりはしたものの、基本に従った点検と準備の重要性を再認識させられた、問題のある夜間飛行でした。



会員番号2941番

高知にお住まいのメンバーさんから

お便りが届きました

「高知県にある早明浦ダムや青龍湖周辺では、米軍機による飛行訓練がありオスプレイも来るようになりました。操縦士の顔が見えるくらいを飛びます。自宅はダム湖まで歩いて2キロほど。毎年、夏風邪をひきますが、なぜか今年はまだひきません。新型コロナのおかげなのでしょうか…。皆様のご健康をお祈りいたします。」とメッセージをいただきました。

きっと、メンバーさんはいつもの夏と違ってウイルス対策を念入りにされていたのでしょう。それで風邪も退散しているのかもしれないですね。でも、熱中症等もありますから、皆様も油断なさらずご自愛ください。しかし、このコロナウイルスさえ発生していなければ、マスクに三密、自粛もなしで、東京オリンピックが開催され、日本全国、賑やか華やかに、スポーツの祭典に国際親善と大盛り上がりだった…。はず。こんな厄介なウイルスに負けてはいられません。良かれと思う対策・防御なりを工夫して、強い気持ちを持って乗り越えたいです。なお、他にも、東京のウイルス感染状況をご心配頂き、事務局へあたたかなひとことメッセージなどをお寄せ頂いております。ありがとうございます。その一言一言に、たいへん励まされます。皆様もお元気でいてください。



●日本飛行連盟の飛行場

Airport

大利根飛行場

茨城県稲敷郡河内町・利根川河川敷

大利根では現在、自家用機運航と JMGCクラブの訓練を主に行っています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、次のような対策をしています。

- 当日の体調が悪い方。(発熱していないこと)
- 同居している方に体調が悪い方がいる場合。
- 海外から帰国し14日以内である場合。
機体内外においても徹底消毒を施してのフライト。

このように色々と対策をしています。機体にも最善の工夫と対策を施してまいりますので、皆さまもセルフケアでご協力をお願いいたします。

三保飛行場

静岡県静岡市清水区三保・三保半島

アフターコロナの時代…。って、いったい、いつになるのでしょうか。広々とした人影まばらな三保は、ウイルスとは無縁と思えます。しかし、ウイルスは目に見えません。ほんとに厄介です。さて、この夏は大雨災害に猛暑続きでした。7月3日以降は、熊本県を中心に九州や中部地方など、日本各地で発生した「令和2年7月豪雨」で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。静岡も大雨が降りました。その後、東京からの移動自粛要請もあり、思うように飛行場作業が進められずにいます。多少にかかわらず手入れをしたいところなのですが…。三保は、海風が心地良い日もありますが、プリーフィング用バスの中は40度近くになる時も!!。劣化も激しいバスですが、車内で扇風機を回せばホッと一息つけるオアシスです。本号が出る頃もまだまだ残暑厳しいかもしれません。皆様、どうか呉々もお身体を大切に!!